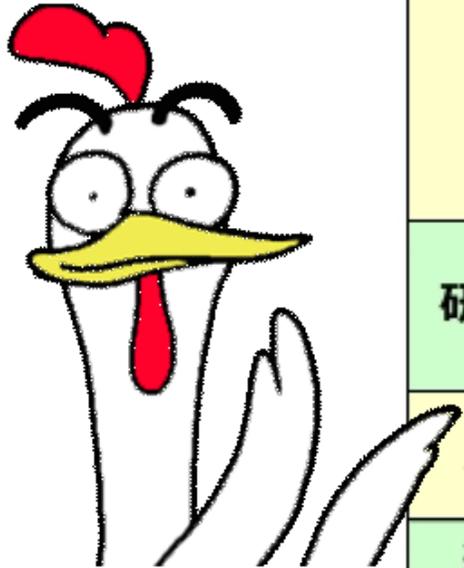


個人目標設定

	レベルⅡ (目安: 3~5年)	レベルⅢ (目安: 6~9年)
		<p>臨床力の安定化、教育・研究活動の基礎作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ●独立して業務が遂行できる ●専門領域での研究活動に取り組む
臨床	<p>病態を理解し、病態にあわせたリスク管理が助言のもと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●急性期および重症患者に対する評価・治療を実践できる ●病態にあわせたリスク管理・緊急時対応が実践できる ●自身の専門領域をイメージできる ●助言のもと協会・学会が指定する<u>専門資格取得をめざす</u>
教育	<ul style="list-style-type: none"> ●助言・指導のもとケースバイザーができる ●学生指導に携われる ●実務指導者講習会を受講できる <p>【スタッフ教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新人教育プログラムの初期業務関連について指導ができる ●助言・指導のもと基本的な評価・治療・リスク管理について <p><u>新人教育ができる</u></p>	<p>【学生教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●助言・指導のもとスーパーバイザーが <p>【スタッフ教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本的な評価・治療・リスク管理に ●新人教育研修を専門領域において
研究・学術	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>院内・院外で発表ができる (症例発表レベル)</u> ●自らが目指す専門領域、分野を明瞭化できる ●一般的な研究方法について理解できる ●研究テーマを探求できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●院内・院外で発表できる (研究)
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ●他職種と意見交換・情報共有ができる 	
経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ●目標単位数取得に向けた働き方を工夫できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●取得単位数・担当実績数を自己分析し、業務効率化ための提案ができる

①教育・学術スキル：
症例報告を、学会で1題、発表する

②臨床スキル（チャレンジ目標）：
3学会合同呼吸療法認定士を、取得する



まとめ

クリニカルラダーを通して自分の**現在地の確認**



課題をみつけて個人目標を設定



目標を達成することで**自信の獲得**へ